

No.196

坂東地域アグリ通信

令和3年12月20日坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

HPは
こちら



境町で新たにサツマイモ栽培に取り組みます

境町の5戸の生産者が、たばこ栽培からの転換等で新たに令和4年産からサツマイモの作付けを検討しています。10月に栽培講習会を開催し、サツマイモ栽培の基本について学びました。サツマイモ栽培に取り組むのは全員初めてで、採苗のための育苗管理の方法や、定植の方法について熱心に意見交換が行われました。

また、サツマイモを栽培するにあたっては苗の確保が重要になります。育苗方法等を学ぶため、栽培希望者全員で11月下旬に五霞町でサツマイモを大規模に作付けしている農業法人へ視察研修に伺いました。良質なサツマイモを生産するためには、しっかり苗を確保することが大切で、ウイルスフリー苗を利用することや、効率的に採苗するための方法などを中心に研修しました。今後は作付予定の畑の土壌診断を行い、栽培の準備を引き続き行う予定です。

収穫されたサツマイモは、さかいまちづくり公社に出荷し、公社において「ほしいも」に加工する予定です。「ほしいも」は今後、境町の特産物の一つとなることが期待されます。



栽培講習会の様子



視察研修の様子

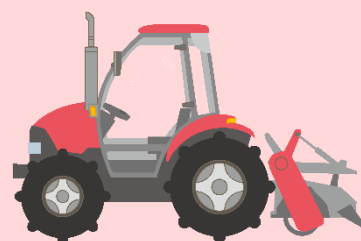
トラクターの盗難対策を徹底しましょう

茨城県警によると、令和3年10月末の県内のトラクター等の盗難被害は、前年の同時期と比べ18件増加し、合計59件と全国ワーストになっています。特に県西地区はここ数年、被害発生数の報告が多くなっています。

今一度、防犯対策を徹底し、被害を未然に防ぐように心がけましょう。

盗難被害を受けやすいトラクターの特徴

- ・購入、生産から10年以上経過したもの
- ・自宅敷地内外に関わらず、防犯対策がされていないもの
※場所別発生件数では自宅敷地内が最も多くなっています。



アグリセミナー県西広域講座『マーケティング講座』を開催しました

坂東地域農業改良普及センターでは、新規就農者の資質向上と仲間づくりを目的に、アグリセミナーを開催しています。

11月17日、県西地域の新規就農者を対象に、「マーケティング講座」を、結城地域農業改良普及センターが実施する「土づくり&育苗基礎講座」と併せて開催し、15名が受講しました。

オンラインで講師を務めたイオンリテール㈱の荒井崇さんから、「売れる商品を想像・創造できるようになる」をテーマに、ほ場から売り場までの役割やその付加価値、お客様が



求める商品・お店が売りたい商品の概要についての説明がありました。

受講者からは「生産者としてどのように消費者が求める商品を作れるかを考えさせられた」「生産者が『商品づくり』をしっかり自覚しなければならない」等とのコメントがあり、自身の栽培する農作物の強みを考えるきっかけとなる講座となりました。

普及センターでは引き続き、新規就農者の育成に向け、講座等を通して支援していきます。



いばら4Hクラブがサツマイモの直売を行いました

いばら4Hクラブが、11月20日、21日に「道の駅まくらがの里こが」でクラブ活動の一環として、サツマイモの直売を行いました。

いばら4Hクラブは古河市三和地区の若手農業者13名で組織されています。例年、さんさんまつり等のイベントで、農業の魅力発信を目的として野菜の直売を行っていますが、今年はコロナ禍のため、イベントの開催がありませんでした。



そのため、各クラブ員が育てたサツマイモを持ち寄り、

地元の「道の駅まくらがの里こが」で焼き芋の販売、サツマイモの詰め放題を行いました。両日とも晴天に恵まれ、焼きたての焼き芋とサツマイモの詰め放題はどちらも大変好評で、用意したものは完売しました。

普及センターでは、今後も後継者クラブの活動支援を通じて、農業の魅力を発信していきます。



1月 土壌診断実施日のお知らせ

1月7日(金)、19日(水)の2回の予定です

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順となります**ので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

気が付いたら12月。2021年も残すところわずかになりました。これほど濃い1年はめったにないのではと感じています。来年2022年は、今年以上に様々なことに挑戦する年にできればと思います。それでは皆様、良いお年を！(畑木)